

## 2024 年臨床神経学電子ジャーナル全文 PDF 閲覧回数年間トップ 30

(集計期間 2023 年 11 月 1 日～2024 年 10 月 31 日)

	掲載号	種別	著者名	タイトル	閲覧回数
1	49 巻 6 号	総説	高草木 薫	大脳基底核による運動の制御	54,720
2	52 巻 7 号	総説	安藤 哲朗	頸椎症の診療	19,618
3	49 巻 11 号	教育講演 2	飯塚 高浩	抗 NMDA 受容体抗体脳炎の臨床と病態	13,306
4	63 巻 5 号	提案	平賀 陽之	症例報告の効果的な書き方	13,196
5	60 巻 6 号	総説	山本 康正	大脳深部の血管構築と皮質下梗塞	11,415
6	52 巻 11 号	シンポジウム (3)-3-5	米田 誠	橋本脳症の診断と治療	10,363
7	60 巻 10 号	総説	曾根 淳	神経核内封入体病 (neuronal intranuclear inclusion disease; NIID)	9,373
8	51 巻 7 号	総説	目崎 高広	ジストニアの病態と治療	9,169
9	50 巻 6 号	総説	田中 恵子	傍腫瘍性神経症候群と抗神経抗体	8,429
10	49 巻 2 号	総説	鈴木 匡子	高次脳機能障害の診方	8,138
11	52 巻 11 号	シンポジウム (1)-9-4	生井 友紀子	小脳と構音障害	7,385
12	50 巻 11 号	シンポジウム 11-1	山本 康正	Branch atheromatous disease (BAD) の概念とその臨床的意義	7,373
13	49 巻 4 号	総説	安田 斎	糖尿病性ニューロパチーの病態と治療	7,040
14	51 巻 11 号	シンポジウム 22-2	巨島 文子	延髄外側梗塞 (Wallenberg 症候群) による嚥下障害	6,536
15	55 巻 7 号	総説	廣瀬 源二郎	Barré 試験と Mingazzini 試験—Mingazzini 原著の重要性—	6,468
16	48 巻 11 号	教育講演 3	大槻 美佳	失語症の診療—最近の進歩—	6,445
17	54 巻 4 号	総説	山本 康正	Branch atheromatous disease の概念・病態・治療	6,338
18	51 巻 9 号	総説	西野 一三	筋病理の基本	6,258
19	54 巻 12 号	Symposium 09-3	福島 和広	神経痛性筋萎縮症 (neuralgic amyotrophy) の臨床像と MRI 所見	6,231
20	53 巻 11 号	シンポジウム (4)-6-1	宮城 愛	痙縮に対するボツリヌス療法	6,175
21	50 巻 4 号	短報	河野 祐治	高度の嚥下障害を呈したボレリア脳幹脳炎の 1 例	6,056
22	50 巻 11 号	シンポジウム 11-4	武田 英孝	BAD をどう治療するか	5,950
23	53 巻 11 号	シンポジウム (2)-7-5	清水 潤	抗ミトコンドリア抗体陽性筋炎	5,826
24	52 巻 3 号	症例報告	岩崎 靖	緩徐な進行で長期経過を呈した進行性核上性麻痺の 1 剖検例	5,793
25	51 巻 11 号	シンポジウム 25-3	城倉 健	脳幹・小脳の血管障害によるめまい	5,752
26	63 巻 4 号	依頼総説	福武 敏夫	非小脳性運動失調：後索型運動失調と小脳型運動失調	5,627

27	53 卷 11 号	シンポジウム (4)-7-4	美馬 達哉	ミオクローヌスの病態生理	5,576
28	54 卷 12 号	Symposium 04-3	辻 貞俊	片頭痛とてんかん	5,395
29	55 卷 4 号	短報	澤村 正典	陰部むずむず感で発症したパーキンソン病の 1 例	5,337
30	61 卷 6 号	短報	足立 洋	自己免疫性 glial fibrillary acidic protein (GFAP) アストロサイトパ チーの 1 例	5,241

※責任著書の所在が明らかでない場合は一番初めの方を抜粋しております。

